

2025
議会だより

よしか

第73号

令和7年1月25日

ばんきいっぱい 七光キッズ



▶議長年頭あいさつ・第4回定例会・
主な事業

2～3

▶主な質疑

4

▶全員協議会

5

▶議案の議決結果・発議・要望・陳情

6

▶議会へのご意見

7～8

▶一般質問・委員会審査報告

9～12

▶県議長会全議員研修・視察・

全国町村議長大会

13

▶吉賀高校意見交換・編集後記・
今月の表紙

14

年頭のあいさつ

議長 安永友行



新年あけましておめでとうございます。
昨年も、国内外を問わず多くの事があ
りました。

ロシア・ウクライナや中東での紛争は
混迷を深め、核使用を示唆する指導者も
ある中、日本被団協のノーベル平和賞の
授賞は、その平和を願う声が、全世界に
届きました。

戦争はいつも、若い兵士たちや子ども
たち、女性、高齢者等の弱い者ばかり犠
牲になります。一刻も早い「終息」を望
みます。

一方、アメリカのトランプ氏の再登板・
ヨーロッパ、韓国の政情不安定もある中、
日本では衆議院解散総選挙での与野党逆
転が起き、少数与党での石破政権となり
ました。

今後の政権運営は、今までと違う「数

頼み」の手法は通用しなくなり、政治
のあり方に変化が起こり、民主的かつ
創造的に変わらざることを願います。

一方、我が国全体の人口減少は現実
のものとなり、私たち議会人もこの現
実を見据え、次世代に繋ぐ役割を果た
さなければなりません。

今秋は、議員・町長の改選を迎えます。
地方自治体の政治は、二元代表制によ
り決定されますが、町の政治はそれを
担う者ばかりでなく、選ぶことができる
町民のものでもあります。

私たちは今、担い手不足の解消のた
め、議員定数と報酬の見直しについて、
3月定例会での報告を行うよう協議を
進めています。

子どもたちや若者・高齢者、全ての
町民が、この町に住んでよかったと思
える町づくりのためにも、政治は町民
のものであり、町民の皆さんが進めて
いくべきものです。

志を抱く多くの若者や女性の参画に
より、吉賀町の将来のため、多様な人
材による政治が行われることを期待し
ます。

新年に当たり、皆様のご多幸を願い、
年頭のご挨拶と致します。

令和七年 元旦

第4回 定例会

〈令和6年12月6日～12月13日の8日間〉

一般会計補正予算(第7号)

2億7,526万5千円

補正後の一般会計予算総額

83億4,282万2千円

昨年比 1.0%増

主 な 事 業



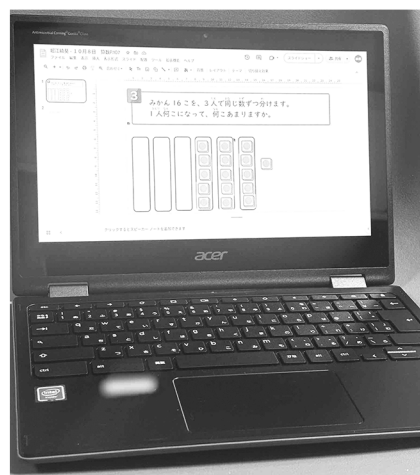
本庁舎修繕費 111 万円



福祉センター改修工事費 1,332 万円



町内中学校図書購入費（教員用教材）
759 万円



タブレット（町内小中学生貸与）
修繕費 12 台分 41 万円



中河内（栴谷）浄水場改修費 668 万円



災害復旧工事費
町道 6 力所 800 万円
河川 11 力所 1,060 万円

12月定例議会の主な質疑



吉賀町スポーツ公園

指定管理者選定委員会 11万円

庭田議員

前回までの管理者である㈱サンエムが応募しなかった理由を把握しているのか。管理者が不利益を受けるようなことがあってはならない。

【教育次長】

㈱サンエムの辞退理由は確認していない。今までの管理料では採算が合わないという他社の話も聞いている。推測ではあるが、㈱サンエムも同じ認識だったと思う。



老人福祉センターはとの湯荘

老人福祉センター修繕費 236万円

三浦議員

公共施設全般に言えることだが、老朽化が進んで修繕など維持費が年々増加している。観光としても重要な施設なので、リニューアル、資源など抜本的な見直しを考えるべきである。

【企画課長】

今回の5年間の指定管理中に公共施設の管理の方向性をしっかり決めたいと考えている。



11月2日の大雨で被災した馬橋と平田頭首工

災害復旧費（馬橋・平田頭首工）

9,760万円

河村隆議員

馬橋は令和6年、7年と2回に分けて撤去、頭首工は撤去、仮設、復旧とする計画が示されている。二次災害や経費を考えれば、一度に工事を終わらせる方が効率的ではないか。

【建設水道課長】

馬橋は二次災害を防ぐために、まず上部工を撤去し、漁期が終わってから下部工を撤去する。

頭首工は、とりあえず出水期までに破損したコンクリートを撤去する。一度に工事を終わらせることはできない。



カントリーエレベーター

担い手関連支援事業費

3,247万円減額

桜下議員

議会で可決した予算が、なぜ簡単に白紙にできるのか。

【産業課長】

カントリーエレベーター修繕のために、施設を核にした吉賀町の米作りというストーリーで産地創生事業に申請したが、事業にはそぐわないという理由で不採択となった。

全 員 協 議 会

▶ 第10回全員協議会（11月20日）

・議員定数・報酬の見直し

3月の議員定数等調査特別委員会において、議員定数については現状のままだが望ましいという結論が出たが、その後、全国町村議長会より「議員報酬の適正化に関する決議」が出されました。このことを受けて議員定数の見直しという追加請求書が6名の議員より提出されたため、議員定数も併せて協議することになりました。

▶ 第11回全員協議会（11月29日）

・林業事業体設立

地域おこし協力隊制度と森林環境譲与税を活用して森師の育成事業を実施し、吉賀町として協力隊卒業後の伴走支援や当町の豊富な山林資源を生かすことを目的に、㈱トビムシとの出資で林業事業体（仮称(株)よしか林業）を設立することになりました。

村上議員

民間の企業も人材不足で悩んでいる。森師の受け入れ先として検討した上で事業体の設立に至ったのか。

【産業課長補佐】

特にそのようなことはしていない。協力隊の育成は今後も進めていくので、そのような選択をする人も出てくることは想定される。

・広島広域都市圏への加入

広島市を連携中枢都市とした連携中枢都市圏へ令和7年4月に加入を検討しています。

桜下議員

アンテナショップを生かすためにも、加入は必要である。

【企画課長】

アンテナショップをイベントなどに、しっかり組み込んでもらうよう提案していく。

・よしか病院及びよしか介護医療院の状況等

運営状況・救急発生・電話相談サービス等の状況や新病院建設事業の見直しに係る内容の情報が提供されました。

大庭議員

看護師不足や物価高騰による新病院建設費の増加などは、今に始まったことではない。見通しが甘いのではないのか。

【医療対策課長】

看護師不足という厳しい現状も物価の高騰も想定していた。町に病院を残すという一念で努力しているし、今後もその思いに変わりはない。

・公民館長の待遇改善

公民館を拠点とした人づくり・地域づくりを一層強化するため、公民館長の新たな勤務形態を含めた待遇改善を図る案などが示されました。

中田議員

勤務時間を倍にして給料が倍になっただけで、改善でもなんでもなし。館長やOBの意見も聞いて制度設計をされたのか。

【教育委員会主幹】

館長会で相談した上で計画を作成している。辞められた方の理由はさまざまなので、OBの方からの聞き取りはしていない。

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第4回定例会	議案第87号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正
	議案第88号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正
	議案第89号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第90号	吉賀町医療介護従事者住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第91号	令和6年度吉賀町水道事業会計補正予算(第1号)
	議案第92号	令和6年度吉賀町下水道事業会計補正予算(第1号)
	議案第93号	令和6年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第94号	令和6年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第95号	令和6年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第96号	令和6年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第97号	令和6年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)
	要望第3号	有機農産物「認証システム」の確立についての要望書
	陳情第3号	吉賀町農産物物流支援事業に関する陳情書

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村(由)	松蔭	河村(隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第4回定例会	発議第5号	国庫負担の増額で国保財政の改善を求める意見書(案)	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●

発議

※議員が提出した議案

【発議第5号】

国庫負担の増額で国保財政の改善を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

〔提出理由〕国民健康保険への国庫負担で、協会けんぽなど他の健康保険との保険料負担の格差縮小と、町が進める子育て支援策への評価の見直しを求めるもの。

◇賛成少数により否決

要望・陳情

【要望第3号】

有機農産物「認証システム」の確立についての要望書

提出者 食と農・かきのきむら企業組合

理事長 斎藤 哲一

◇全員賛成により採択

【陳情第3号】

吉賀町農産物物流支援事業に関する陳情書

提出者 なかつ国株式会社

代表 齋藤 浩二

吉賀町野菜生産者組合

組合長 藤升 洋子

◇全員賛成により採択

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

のりしろ のりしろ のりしろ ご意見等ある方は、 裏面にご記入の上、 外枠にそって切り 取り封書にして投 函してください。	切り取り 折ってください 料金受取人払 益田郵便局承認 527 差出有効期間 2026年2月 28日まで 〔切手不要〕 折ってください 698-8790 吉賀町役場 議会事務局 行 吉賀町六日市七五〇 切り取り 折ってください
---	---

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。

切り取り

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

件 名

切り取り

まちの駅官民連携手法報告訂正を



藤 升 正 夫

質問

真田グラウンドと隣接する交流研修センター、旧六日市学園施設とその周辺からなる交流拠点を「まちの駅」として整備することを念頭に、1200万円もの公金を投入した「まちの駅官民連携手法検討調査報告書」がある。

踏まえ、一カ所に集約することを検討している。」とある。報告書の正確でない文言の訂正は行うのか聞く。

誤解を与える表現は修正の対応

町長

調査報告書のふるさと納税のふるさと納税は、全ての個人からの寄付金を対象としており、事務報告書は一般寄付金を含んでいない。

額の推移に、令和2年度納税額が1億65万6千円とあり、決算の事務報告書は、ふるさと応援寄付金、865万6千円としており、10倍を超える開きがある。食に関する機能のところに、「現在、給食や病院食、老人ホームの食事は施設ごとに調理場を設けているが、各調理場における人員が不足している状況

を踏まえ、一カ所に集約することを検討している。」とある。報告書の正確でない文言の訂正は行うのか聞く。

年収の壁の見直しは



桑 原 三 平

質問

年収の壁は、住民税や所得税が発生する壁、社会保険に関わる壁、配偶者の収入に変動する壁がある。

このたびの衆議院議員選挙の結果、少数与党となった自民党、公明党、国民民主党との間で、年収の壁の見直しが行われるとの報道があり、県の試算では、壁を引き上げた場合、約84億円、県内19市町村では約93億円の減収が見込まれるとのことである。

壁を引き上げた場合、町の減収分について試算されたのか。

減収分は、国が地方交付税として補填するというのが、税収そのものの減るので、今までの交付額通りとなるか危惧している。

減収分は、国が地方交付税として補填するというのが、税収そのものの減るので、今までの交付額通りとなるか危惧している。

約8千8百万円

町長

減収分については、あく

公民館の体制改善は



三 浦 浩 明

質問

公民館は地域の人づくり、地域づくり、地域振興の拠点として、重要な役目を担っている。しかし現在、六日市、七

日市両公民館長は長期間不在で、なかなか補充できていない状況である。

応募がないと、待っているだけでは何も進まない。館長の服務体制や処遇改善等を行った上で募集をするといった基本的な対策が必要ではないか。

以前、「前向きに検討する」との答弁があったが、その後どうなっているか。

処遇改善を含め進める

七日市公民館長については、一部の町民からの推薦等も数件入ってきている状況である。

処遇改善を含め進める

町長

公民館長の選任は、公民

教育長

新たに創設する勤務

体制について、来年度からの実施に向け手続きを進めている。

報酬金額についても会計年度任用職員の基準に合わせて進めている。

七日市公民館長については、一部の町民からの推薦等も数件入ってきている状況である。

公約の実現と未来は



河村 由美子

質問

町長は、所信表明・施政方針を総花的に表明して7年経過した。

自らが稼げる町づくり、持続可能な町づくりに力を注ぎ、自治体は業務のデジタル化の促進等で効率化し、空き家や休耕田などの有効活用なども行うべきである。

2050年頃には、高齢者が著しく増加し、自治体の経費がかさむため、多様な意見を取り入れ、実行することが必要になる。

7年間の実績と当町の課題と対策をどのように捉えているか。

7年間を振り返って

町長

地域課題としては、柿木の住居表示問題、工

ボックの解散などがある。実績としては、廿日市のアンテナショップの存続。

官民連携による地域再生推進法人「高津川てらす」の立ち上げ。

一番大きな仕事は六日市病院の公設民営化がある。

地域経済は、町内で商店が相次いで閉店し、厳しい状況にあるが、今後は町の強みを生かした政策を展開するとともに、新たに提案型の地域おこし協力隊制度も導入し、活性化を推進することとした。同時に、まちづくり計画や第2期の総合戦略に沿って、予算の裏付けをしながら、本町の豊かな町づくりを進めていく。

町営住宅は



中田 元

質問

令和5年の特定優良賃貸住宅、定住促進住宅、公社賃貸住宅など、町営住宅が218戸ある。先月11月号お知らせ版で、22戸で入居者を募集している。空き家が多いことを問題視していないのか。

令和5年の特定優良賃貸住宅、定住促進住宅、公社賃貸住宅など、222戸を管理している。空き家は23戸で、病院関係者の転出が多かったことも一因。

町長

現在、公営住宅、特定優良賃貸住宅、定住促進住宅、公社賃貸住宅など、222戸を管理している。空き家は23戸で、病院関係者の転出が多かったことも一因。

公募しない空き家

質問

沢田団地内で長期間入居者もなく、募集もしていない。苦情があった

ので、私も現地を確認した。税務住民課にも問い合わせたが、納得できる回答ではなかったと聞いている。なぜ募集しないのか。

空き家ではない

町長

問い合わせに対し、納得のいく回答をしなかったことについて、大変申し訳なく思う。

質問の住宅には入居者がおられ、沢田団地に空き家はない。

教員住宅は

質問

利用率は50%

町長

年度によって違うが、利用率は50%。

人口減少対策は



大庭 澄人

質問

吉賀町の人口のうち、外国人は。近年、地域で空き家が目立ってきている。町中でも店舗が少なくなっており、こういった現象を町長はどのように感じているか。また、対策はあるのか。

減る速度が増している。社会増減、自然増減に対して、こういった対策をして行くのか。こういった施策が、自治体の特色となっていくと考える。

有機農業に取り組み、本町に来てみたいという方がおられるが、こういった本町にしかない強みを生かした対策を更に進めていく必要があると考える。

独自の強みで対策

町長

令和6年11月30日の住民基本台帳上の人口は588人で、その内外国人は205人である。人口減少については、日本全体の問題であり、その中であって本町だけが人口増加していきと言った状況にはならないと考えている。

ただ、残念ながら2年ぐらい前から人口が



一般質問は生かされているか



松 蔭 茂

質問

毎回の定例会では、ほと

んどの議員が町民の声として一般質問をしている。多くは政策提言で、「こうしたらどうか」、「これはおかしいのでは」、といったものである。

議員の質問に対してどのような過程で処理されるのか。検討するというところで終わっているのか。

えるよう制度設計をした。

高齢者の補聴器購入費助成は制度化した。

木材の利活用に寄与する制度設計では、森師の研修制度を行っている。

アンテナシヨップの家賃負担は令和6年度から予算計上し、負担する。また、アンテナシヨップを町の情報発信の起点としてやっている。

政策に生かしている

町長

基本的には行政活動に生かすべきと考えている。

実績として、六日市での循環線の実証実験を行っており、これを

実際の運行に繋げたい。家族介護支援事業対象者の拡充は、意に沿



地籍調査事業は



河 村 隆 行

質問

当町の地籍調査対象面積

は260平方キロあり、令和5年度末で進捗率

9・05% (20平方キロ) しか進んでいない。単年の実績は0・33平方キロで、全域が完了するのは何年になるのか。

県全体の平均は54%であり、当町は最下位である。差が余りにも大き過ぎではないのか。毎年1平方キロずつ新規着手しても、240年かかる。まちづくりの基本と考えるが、進まない原因はどこにあるのか。

予算確保が難しい

町長

進まない原因は、着手から登記完了まで約5年かかること、令和2年

度から予算配分の制度が変わり、新規につきにくくなったことである。

今後は

質問

農林業の振興や、円滑な防災・減災事業実施のため、地籍調査を急ぐ必要がある。

この事業を何年までに完了させたいのか。そのためにはどのような方法で進めるのか。今後の具体的な計画は、

計画はない

町長

全体完了まで。第7次10か年計画 (令和2年～11年) では、40・83平方キロを実施する予定であるが、現状では非常に厳しいと考える。

公共施設の管理見直しを



庭 田 英 明

質問

令和5年度には、公共施設の管理に3億8百万円もの財源を費やしている。

民間への譲渡や制度の見直しを行って、財政負担の軽減を図るべきである。

現状での管理で

町長

現状では直営、指定管理、地域再生推進法人で管理していく以外にない。と考える。

再質問

管理者が不利益を受けないような契約になっているのか。

町長

正確な情報を極力示して公募しているつもりだが、そうでない事例もあると思う。

農業を守る支援を

質問

老朽化、利用率の低下等により、カントリエレーベーターの事業継続が困難になっている。町の農業政策の中で、しっかりと支援していくべきである。

全力で支援

町長

基幹作物の Comer を守るために、継続できるように、あらゆる努力をして支援していく。

再質問

耕作放棄地の増加や管理不足などでトラブルが増加している。罰則も含めた条例の制定が必要である。

町長

産業課と相談しながら、対策を考えていきたい。

よしか新病院建設見直しの理由は



桜下 善博

質問

現病院を解体、新病院を建設し、令和9年度から新病院での受診開始という基本計画の見直しが発表された。

当初より、解体、建設費に52億5千万円という試算が町の財政に大きく影響を与えると予想され、新病院建設は厳しいとされていました。

見直しとは、建設を断念するのか、延期するのか、見直しの真意を聞く。

スケジュールの変更

町長

建設コストの上昇を踏まえ、町財政のリスクを回避するために現施設の改修等を行い10年程度活用する。その間に



建て替えに向けて備えていくのが良いのではないかとこの地域医療協議会からの提案を受け、今後の方針について検討を進めてきた。おおよそ10年以内のできるだけ早期に建て替えを行い地域医療の灯を残し、希望や夢を持てる明るい未来につなげていく。

全庁挙げて官民連携に取り組み



村上 定陽

質問

町は『地域再生推進法人高津川てらす』に対して集落支援員制度を用いた委託事業を行っている。

法人には3名、活動費を含め一人あたり485万円、計1455万円の委託料が支払われているが、財源は特別交付税であるとはい

え町からの支出に違いはない。設立2年足らずで役員構成が変わるようなことがあるが、町民からの信用を得られるのであろうか。

また、集落支援員の活動に関して、同じ町であっても地域・集落によって様々であり、現状把握や課題抽出は必須であるが、行われている。行政としてアドバイスが可能な

かったのか疑問に感じている。今目指すは『国スポ』でも『まちの駅』でもなく『地域再生』である。そこに手を挙げた『高津川てらす』の想いを町民に広げべく、全庁挙げて取り組む必要がある。

肝に銘じて対応していく

町長

『高津川てらす』は官民連携のパートナーであり、今後、意見の調整や情報交換を行い風通しの良い関係性を構築すべく対応していく。まちづくりは各々が頑張っていくのも当然であるが、全体のものとして共有し、同じ方向へ向かうために、意見を交わすようなテーブルは設けていきたい。

【要望第1号】

経済常任委員会審査報告



10月15日、広石地区から提出されていた、「農業用水路の移設及び町道広石線の道路拡張整備、並びに国道下の用水路の堆積物処理に関する要望書」について調査するため、経済常任委員会委員が現地を視察しました。

当日は、提出者、地元住民の方と、建設水道課の職員より説明を受け、当該地区の現状を確認しました。

この件については、今後も継続審査として、引き続き調査を行います。



議員力向上へ

10月11日、松江市において、島根県町村議会議員研修会が行われました。

初めに、「質問力の向上から政策提言へ」と題し、地方議会研究所代表の高沖秀宣氏による講演で、一般質問から行政に対し、監視・政策提言機能を果たす役割を改めて学びました。

次に、「議員が心得ておくべきコンプライアンスの基本」と題し、弁護士太田雅幸氏の講演では、規律やハラスメントなどの事例が掲げられ、議員としてのコンプライアンス遵守について再確認することができました。



アートを取り入れたまちづくり

11月7日、山口県宇部市のときわ公園「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」にて、視察研修を行いました。

宇部市は戦後、工業都市として発展した一方で、大気汚染など環境問題に悩まされ、その中で生活空間を住みよいものへ変えていくと運動が起きました。



吉賀町賞受賞作品「見えてくる犬」

以降、「UBEビエンナーレ」は市民や学生のサポートにより、長年地域一体型のイベントとして開催しており、これを通じて芸術文化の普及と地域の魅力を発信しています。

当町は、2019年より吉賀町賞を設けており、彫刻の丘には、今回吉賀町賞を受賞した「見えてくる犬」（佐藤一明氏作）が展示されています。

過去2作品は当町に寄贈され、正国公園や役場本庁舎にて見学ができます。

当町も宇部市に見習い、森英恵氏や澄川喜一氏のご縁も生かして芸術を通じた教育振興・地域活性化に努めていくべきと感じさせる視察でありました。



町村議会の機能強化を

11月13日、第68回全国町村議会議長大会が東京都内で行われました。

今大会で印象的だったことは、近年の町村議会議員選挙において、投票率の低下とともに、無投票当選者の割合が増加し、一部の町村議会では定数割れも生じるなど、議員のなり手不足の深刻化が問題提起されたことです。

この状況を打開するため、議会の機能強化を図るとともに、立候補を阻害する要因を取り除き、志を抱く誰もが議員として活躍できる環境の整備が必要として、8項目からなる「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する要望をまとめ、国へ要請することが決議されました。



全議員が吉高生と交流

12月18日、「ギカイ×吉高生徒会」と題し、自己紹介から始まり、吉高生への事前アンケート結果の説明等を経て、意見交換が行われました。

生徒へのアンケート結果は、「今考えている高校卒業後の進路について」の問いに「町内で就職」10・1%、「町外で進学」69・6%、「町外で就職」7・6%、「未定」12・7%でした。（回答79件）

「町内で就職」の具体回答では、地元の良さを生かして活動したい、町に貢献したいなどの意見が6件、「町外で就職」では、進学先が無いことや、新しい価値観を身に付けたいなど、42件の回答がありました。



「将来的に吉賀町に戻りたいと思っているか」の問いには、「戻りたい」16・9%、「戻らなくてもいい」26・8%、「分からない」56・3%でした。（回答71件）

「戻りたい」では、地元が好き、行政に関わりたいとの意見が5件、「戻らなくてもいい」との回答に対し、「どのように変化すれば良いか」の問いには、店



的に物足りないと感じるほどの充実したひと時になりました。

や遊び場を増やしてほしい、働き先の確保などの意見が9件、中には、町に対する愛着を育むふるさと教育の充実が大切になってくるとの意見もあり、今までのサクラマス教育の不十分さを指摘するような、ハツとさせられる意見もありました。

後日、参加した生徒の事後アンケートでは、「吉賀町の抱える課題について関心が高まったか」との問いに、100%高まったとの回答や、その課題解決に取り組みたいと回答した生徒が9人中7人もいたこと、そして議会に対し、政策を考えてほしい、子どもたちの意見を取り入れる「子ども議会」についての意見も出されました。

議会は、今後このような交流を継続し、若者と共に地域の未来を描いていきたいと思



編集後記

明けましておめでとうございます。今年は巳年です。私はへびが大好きで、小さい頃ははじめていました。

へびさんごめんなさい。しかし今は、大好きです。夢に出てくるへびが。二十数年前の夜、へびが夢に出てきました。するとその日、思わぬいい事に遭遇しました。あれ以来、積極的にへびの夢を見るよう努力しています。特に、宝くじを買った日は。しかし正夢になったことはありません。

今年はチャンスが一年間あります。へびさん、過去のことは本当に申し訳ありませんでした。積極的に夢に出て下さい。正夢になりますようにお願いします。特に宝くじは。皆さんも一緒にへびの夢を見ましょう！



桜下 善博

広報広聴常任委員会

委員長 村上定陽 副委員長 三浦浩明
委員 桜下善博 河村隆行 庭田英明

【今月の表紙】

思い切り体を動かして、元気いっぱい遊ぶ七光保育所の園児のみなさんです。寒さを吹き飛ばすような笑顔を見せてくれました。

撮影・・・川上泰博さん（美美工芸）